

たんぽぽ

兵庫県赤父市瀬崎82番地の28
森 医院
TEL 079-665-0223 FAX 079-665-0635
http://www.2.ocn.ne.jp/~moriin/ ①
e-mail mori-clinic@fureai-net.tv
第112号 平成25年9月発行

今夏の記録的な猛暑、熱帯スコール様の突如の豪雨。熱帯に移動したような日本列島。今年、豊岡市で見つかったダニ媒介伝染病であるSFTSも熱帯ウイルス感染症。今後さらに温暖化が進むと蚊媒介のマリアウエストナイル熱、デング熱などが国内でも流行するかもしれない。冬の鳥インフルエンザ流行とともに今後の感染情報にはアンテナを上げたい。

今年で大学卒業40年になる。先日、卒業40年記念同窓会が大学のある政市町であった。卒業活躍の場は学部に近い政市・名古屋がほとんどであるが、遠く北海道、関東、関西、四国などからも集った。久しぶりに顔を合わせると互いにその変化ぶりに驚き、同級生として遠慮のいらぬ話にあっていう間に時間が過ぎて行った。医師になって40年は長いのが、未熟者なのが入りに童心に戻り、素顔で話せる楽しい時間を過ごした。私たちが団塊の世代と呼ばれる戦後のベビー・ブーム生まれは高齢化しつらお墓の確保も難しく、募集された公営墓地は高倍率の抽選だという新聞記事を読んだ。そういえば私の住んでいた神戸市兵庫区は小学校から定員は一クラス62〜64人。授業が始まると教室は前から後ろまで

机でぎっしり身動きがとれないほど。進学した公立中学校の新1年生は28等級、1学年1800人近い生徒数で修学旅行も2班に分かれて旅立った。約10の小学校から1つの中学校に集められたが実はそれだけではない。集団就職で両親が九州や沖縄から家族ごと神戸に移住してきた転校生が大勢いた。私のクラス2組には遠く長崎県五島列島福江島からの転校生が数人いた。彼ら彼女らは仆ゴヤハトゴで仲間意識が強かったがすぐにクラスに慣れ私たちともよく遊んだ。しかし元漁師であろう彼らの父親は工場の仕事や都会の生活になかなか慣れなかったようだ。そのストレスからか両親が離婚したという同級生もいた。高校進学で大学受験にもベビー・ブーマーたちは雨ざらしの競争をさせられた。60人の学部定員に対し受験者数3000人以上というギャンブルの様な受験戦争だった。私たちが戦後生まれの

超高齢化が始まる「2025年問題」。あと10年もすれば高齢者が3500万人に達し大きな政治課題である年金・保険・医療・介護にとどまらず、電力・通信・情報・運輸・道路などのインフラ整備、農業・産業・教育・食料問題までの対策が求められている。将来が心配な北欧を見習った消費税、10%、20%としても「とらね狸の皮算用」。豊かになって今後どんどん消費が進むとは考えにくい。「2025年問題」への財源は十分に確保できないだろう。さらにこれは日本だけの問題ではなく地球規模で特にアジアの高齢者が行き場を失うかもしれない。もし日本が人口の高齢化問題をうまく解決できても、海の向こうからどっと高齢難民がわが国をめざしてくる可能性がある。いま政治は資源問題だけに目を奪われず、将来を見据えて隣国と仲良くすべき大きな課題を抱える。

私身で恐縮であるが私も女房も8月生まれ。この暑い8月に7人目の孫が生まれ来年から夏休みの誕生祝いが忙しなりそう。産後療養中である長男の嫁に孫二人を、フランス赴任中の嫁を訪ねている長女からも孫二人を預かることになった。それぞれ3歳、4歳、5歳、7歳になり開きわけもいろいろだが私たちが夫婦とあわせて6人家族、ここは保育園かと思うような生活がしばらく続いた。爺婆と楽しい夏休みが過ぎてきたかな?次世代の日本を背負っていくのが厳しく育てていかなければ、多少甘やかせてしまっても甘や夏も終わり、美り多き人生の秋を分かちたい。院長

職員紹介

はじめまして看護師の津崎 聡子 4月からお世話になっております。今年の春は結婚、引越し新生活、新しい職場と忙しい時をすぎました。今は節約術を勉強中です。趣味はマラソンとスノーボード。走りながら風を切る瞬間が最高です!! 薄暗くなった頃走っています。院長先生、職場の先輩に教えていただきながら落ち着いて仕事ができよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

テレホンサービス
☎ 通話無料 0120-979-451
(携帯電話からはご利用いただけません)
《9月のテーマ》

月曜日	女性のクラミジア感染症
火曜日	高齢者の口腔ケアのポイント
水曜日	足首の捻挫
木曜日	無料低額診療事業とは
金曜日	認知症の始まり

《10月のテーマ》

月曜日	ファッションとカラーコンタクトレンズ
火曜日	慢性硬膜下血腫
水曜日	インフルエンザあれこれ
木曜日	耳鳴りでお悩みの方へ
金曜日	強迫性障害とは

http://www.hhk.jp/ (過去の放送分も掲載しています)



知っておきたい胸部レントゲン



胸のレントゲンは、咳・痰が出る、胸が痛い、息苦しいなどの症状がある時、行なわれる検査で、健康診断では必須項目とされています。胸部にX線を照射して撮影し、画像に写る陰影から疑わしい病変の有無を調べます。

どのような病気が疑われるのでしょうか？

<肺の病気>

肺炎・肺癌・結核・気胸
肺気腫・胸水の貯留
気管支炎・胸膜炎・肺線維症

<心臓・心臓から出る血管の病気>

心臓弁膜症・心不全
心肥大・胸部大動脈瘤

<その他>

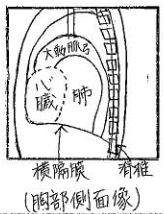
肋骨骨折・脊椎骨折と歪み

撮影について

間接撮影と直接撮影の2通り方法があります。

- 間接撮影は集団検診に利用されます。写真ネガの様にロール状になった小さいフィルムに何人数連続して撮影します。
- 直接撮影は、フィルムが大きくほぼ等身大の画像を得ることができ、間接撮影に比べて解像力が優れています。当院では、この直接撮影法を行なっています。

♡ 胸部側面像は、肺が心臓や横隔膜、肋骨などと重なり正面像では判定困難な変化を見つける事ができます♡



撮影の時、息を止めるのは何故？

「大きく息を吸って下さい。はい、そこで止めて下さい。」と声をかけます。息を大きく吸う事で、肺の端々まで膨らみ、肺の状態をよりはっきり写し出す事ができます。画像がぼやかない為にもしっかりと息を吸ってそのまゝ止めて下さい。

被曝の心配について

レントゲンを撮ると被曝して発癌するのは？と思っている人が意外に多いようです。X線は放射線の種類である為、被曝してしまう事は事実です。1000ミリシーベルト以上の量を被曝すると発癌の可能性はありますが、胸部レントゲン1枚の放射線量は20ミリシーベルトなので、約1万回検査を受けないと1000ミリシーベルトにはなりません。(胃透視1回=約15ミリシーベルト・CT1回=約20ミリシーベルト) 胸部レントゲンでの被曝量は極少量であり癌の心配は要りませんので安心して検査を受けて下さい。

★ 当院では2002年11月よりX線撮影装置をデジタル化しました。専用のコンピューターに記録保存されているので、以前の情報との比較もできます。また被曝線量も少なくて仕上がりも速く鮮明な写真となる為、診断にも有効です。「被曝で撮ったから大丈夫」と安心せず、症状があれば当院での撮影をお勧めします。

お知らせ

今年もインフルエンザの季節になりました。予防接種で重症化を防ぎましょう。時期については貼紙等でお知らせしますのでご覧ください。



編集後記

開院して28年が過ぎ、29年目の秋を迎えました。過ぎてしまえばあつという間の年月でしたが、鏡を見てシワを伸ばす職員もいたり... (笑) 初心に戻り、笑顔と患者さんから学ぶ姿勢を忘れず、院長を尻頭に頑張っているかと思えます。「たんぼぼ」の感想お持ちしています。次回は平成26年1月発行。お楽しみに

